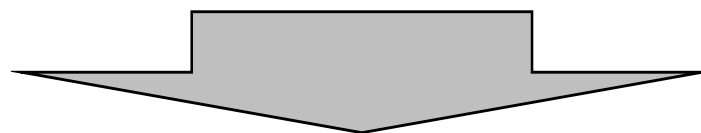
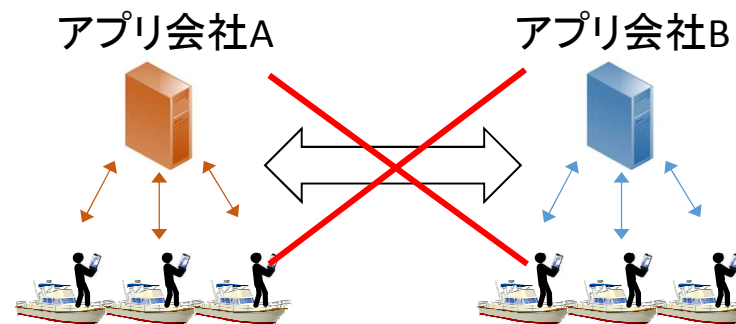


今後の課題の整理

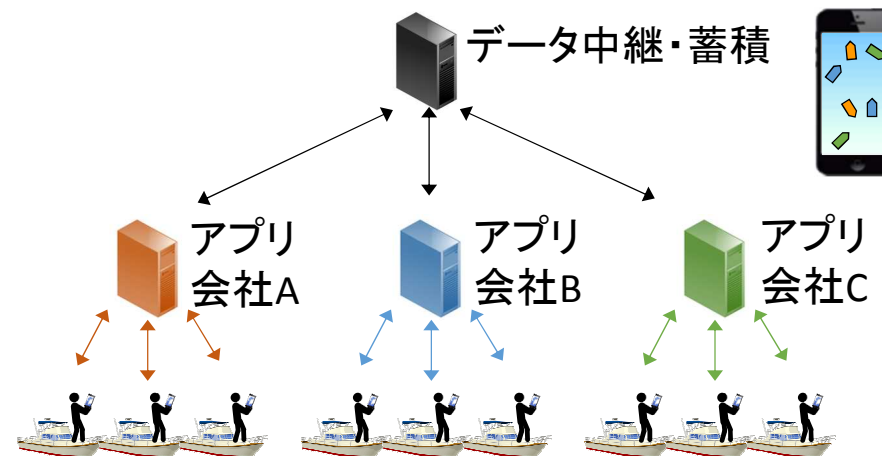
国土交通省海事局
安全政策課

- 現状では、1つの会社のアプリから得られたスマートフォンの位置情報が他社のアプリに共有されていない。

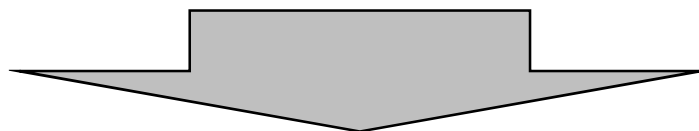


今後の取組み

国土交通省において、平成29年度事業として、複数のアプリ会社間でスマートフォンの位置情報を共有する仕組みの検証を行う予定。



- スマートフォンアプリを運用する会社がスマートフォンに向けてAIS情報を配信する場合、電波法第59条に違反するおそれがある。
- 一方、スマートフォン上で、スマートフォン同士の位置情報だけでなく、大型船のAIS情報も併せて見ることができれば、衝突事故の防止に効果があると考えられる。



今後の取組み

国土交通省、海上保安庁及び総務省は連携し、スマートフォンへの大型船のAIS情報の配信の実現を目指し検討を進める。

- 平成29年5月30日から全面施行される改正個人情報保護法においては、「匿名加工情報」が新たに定義され、個人情報を個人の識別ができないように加工する場合のルールが定められることとなった。
- 匿名加工情報に関するガイドライン等が個人情報保護委員会から公表されているため、これらも参考にしつつ、法律に違反しない形で情報を取り扱う。例えば、自動車の移動履歴データの加工例が示されている。(ただし企業がデータを販売する際の例である)

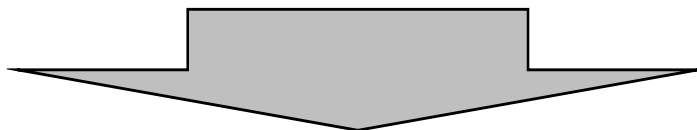
自動車の移動履歴データのユースケースにおける加工例

<http://www.ppc.go.jp/personal/preparation/>

項目	想定されるリスク	望ましい加工
①個人属性情報		
ID	顧客属性データと移動履歴データを連結する符号として利用されている。	全部削除する、あるいは仮IDに置き換える。(項目削除)
氏名	単体で個人を特定できる。	全部削除する。(項目削除)
車種	住所や生年月日等との組合せにより、個人の特定につながる可能性がある。	「高級車」「コンパクトカー」等の車種カテゴリーに置き換える。(一般化)
②履歴情報		
日時分秒	詳細な時刻情報と位置情報に基づいて、個人の特定につながる可能性がある。	秒を削除し、分単位に置き換える。(丸め)
緯度・経度	夜間や昼間の位置情報に基づいて、自宅や職場等が特定される可能性がある。	所定時間以上滞留している地点から一定範囲の緯度・経度情報を削除する。あるいは、走行開始から数分間及び走行終了前数分間の緯度・経度情報を削除する。(セル削除/丸め)
車速	時刻情報と組み合わせることで、削除した位置情報を復元できる可能性がある。	<ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度情報を削除する時間帯の車速情報を削除する。(セル削除) 車速を6区分(～10km/h /10km/h /20km/h /30km/h /40km/h /50km/h以上)に置き換える。(丸め)

個人情報保護委員会事務局レポート:匿名加工情報 パーソナルデータの利活用促進と消費者の信頼性確保の両立に向けて(2017年2月)から抜粋

- 船舶におけるスマートフォンの活用にあたり、地図情報の表示は最も基本的で重要な機能である。
- したがって、表示される地図情報は、正確かつ小型船舶に適したものであって、ユーザーに過大な費用負担を生じさせないものであることが望ましい。



今後の取組み

スマートフォンアプリにおいて使用可能な地図情報の選択肢、使用に必要な手続き、価格、特徴等をアプリ開発者に対して情報提供する。